

# て ん ぎ よ う 轉 教

2018 12 Dec

平成 30 年 12 月 1 日発行  
第 19 卷第 12 号 通算 226 号  
編集兼発行人 山本 久男  
発行人 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021  
東京都文京区本駒込 6-6-11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

## 信のとびら

### 信心の友を

水谷 随 歆

「異体同心なれば万事を成ず」の御教えの通り、立場の違う信者同士が妙法を中心に結束して協力すれば、どんな難題も解決する力を生み出します。「三人寄れば文殊もんじゆの知恵ことわざ」と諺にもあるように、相互の影響力

が作用し合ってより大きな力となるからです。班組はんそしき織は、信者の協力関係の一番小さな単位ですが、ここが信心をきたえる入口になります。班や教区を作っても、信者同士の交わりが円滑

にならなくては組織はうまく機能しません。お互いの信密度をより深いものにするには工夫が必要です。そのためにはまず良き友人を作ることより始まります。良き友人こそ人生の宝物だと悟ることです。良き友人は、互いの体験を伝え合い、耳に痛いことでも忌憚きたんなく教えてくれ、信心の幅はばをひろげ、厚みを増してくれれます。社会的立場は異なっても、信心の友との交流は、多くの人生の知恵も与えてくれ、幅も広げてくれます。

それにはまず、信者は誰に対しても親切であるように、心がけることです。人を妙法の御利益に導くため

には御指南通りの折伏をしなければなりません。そこに導くには先方の立場になつて考え、相手が受け取りやすいように工夫する親切心が要ります。功をあせり相手への配慮が欠けたり、恩着せがましくなれば、人間関係は薄れるか、壊れてしまふかするでしょう。

もう一つは、信用を落とさないよう誠実な態度を忘れないことです。「法の友同じこゝろのまじはりはいつはりがちのふるまひなせそ」と御教歌にもあるように、嘘偽りうそいつわや裏切り行為うらぎぎは御法度ごはつどです。悪口や陰口を言いふらすのは、信用を下げるばかりで良いことなど一つもあり

ません。他人の美点を見つけ出し褒める工夫をわすれないことが大切です。

また、程良い間まをおくことの大切さも心得てください。親切が過ぎると恩着せがましくなり、親密度は上がりません。個人的問題に立ち入りすぎるのも考えものです。いくら親しい友人でも、ある程度の距離を置いて付き合う配慮は、人間関係を長く保つための人間の知恵です。

他教区からお預かりした信者の育成に、毎月お助行に通ってくれた方がいます。はじめの頃は訪ねても玄関も開けてくれない状態でしたが、それでも手紙やメモを残してお

きました。それでも諦めず、あまり性急に通うと相手が負担に感じるかもしれないと、気を配りながら訪問をつづけました。やがて玄関先で話が出来るようになり、さらに通いつづけて御宝前に座ってお助行のお看経をあげられるようになりました。今では、その方が御講参詣するようになったのです。

コツコツとお助行をつづけ、信頼関係を築くのはなかなか一朝一夕に行かないものです。それでも、心の友を作るために親切を尽くし、相手に対する配慮を忘れないことが、自身の信心を磨く菩薩行になります。

# 12月のご奉公のすすめ

## 本年度のテーマ・参詣将引

「一年の計は元旦にあり」。元旦はまず家族でお寺参詣という目標を立てましょう。一日の始  
まりにお寺参詣する喜びを家族で共有したいものです。

## 今月の随喜轉教

信仰心の起るもとは、仏に願う心です。家族皆に祈願をかけてもらいましょう。又、初燈  
明料は功德箱の習慣を付けると結構です。

## 来月のご奉公のポイント

### 一、寒参詣開始

寒参詣は1月6日(日)～2月5日(火)です。勤行は平常通り朝7時から8時半迄です。  
御法門は7時45分、日曜日には御利益談の発表があります。  
参詣目標をたて、教区班内の参詣将引に励みましょう。

## 12月の寺内行事予定表

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日(土)	開講本旨再興祈願総講 午前10時半
〃	運営会議 午後12時半
〃	門祖会本部会議 午後1時半
2日(日)	蓮華会・くんげ会合同 御講 午前9時半
8日(土)	連合幹事会 午前9時半
〃	後続者育成係連絡会 午前10時半
9日(日)	口唱会(担当・事務局) 午前9時半
〃	若い人の口唱会 午後10時半
〃	男性信徒御講参詣申し込み締め切り

## 二、開講記念総講

1月13日(日) 午前10時半より、高祖大士御命日総講に併せて、開講記念総講が奉修されます。安政4年1月12日に開導聖人は、4人の信者と共に佛立講を開講しました。この記念総講を機に本旨講弘通発展の思いをいつそう強めましょう。

## 三、日教上人祥月御命日法要

1月17日(木) 午前10時半より、開導聖人御命日総講に併せて、開導嗣法第四世日教上人祥月御命日法要が奉修されます。関東のご弘通にご尽力された日教上人のご苦勞をしのび、報恩

の思いを込めてお参詣させて頂きますよう。

## 四、諸行事

①初総講は1月3日(木) 午前10時半奉修します。平成31年受持講師の紹介と祝杯式。その後12時半から教講初顔合わせを行います。

②平成31年の成人式は1月27日(日) 午前11時です。若い方達の門出のお祝いです。教区内の該当する方に出席をすすめますよう。

成人式対象者は、平成10年(1998年) 4月2日～平成11年(1999年) 4月1日にお生まれになった方です。成人式は平服でお参詣ください。

13日(木) 高祖大士御命日総講

午前10時半

17日(月) 開導聖人御命日総講

午前10時半

23日(日) 男性信徒御講

午前10時半

25日(火) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半

一地区…2階ホール

二地区…1階ホール

三地区…和室

教講ご奉公納め

25日(水) 年末御礼朝参詣

26日(水) 御炭代・お鏡餅料奉納

締切

31日(月) 元旦会・初御看経・初

総講準備ご奉公

午前10時

年末御礼御看経

午後4時

# きれいな本堂で高祖会奉修

10月  
14

高祖会に先立つ10月6日(土)に2年ぶりの大掃除を行い、気持ちも新たなご奉公ができました。

御看経のあとのご法門前のスライド企画では、昨年に引き続き、如説修行抄の第二段について分かり易い解説を行いました。

第一座は三島聞泉寺の益田照固師が、11時から奉修された第二座では、日在導師が奉修導師

をお勤めくださいました。日在導師はご法門で、次のようなお話をくださいました。

いう内容でした。

2

我々信者は日頃から、「どんな問題も御宝前にご祈願をかけて乗り越えます」という標語を口にしてこの如説修行抄の精神を日常の心得にしています。

3

御題目を唱えて苦難を乗り越えるには、感謝の心を持つことが大きな力となります。授かっている喜びや健康などは両親祖父母のお陰によるという考え方をすると、苦を乗り越える力が湧き出てきます。

5

両親祖父母の命日に塔婆をたて回向をする。これを家族の習



当日のご法門内容及びスライド企画は、HPでご視聴いただけます。

1

ただ今のスライドは、「まことの現世安穩」は困難を乗り越えた先にある、だから目の前の苦しみや心配事もプラスに受け止めて積極的に乗り越えよ、と

慣として定着させれば、感謝の心で暮らすという考え方が広まります。それはきつと、次の世代の方々の暮らしに潤いを与えるものになるはずで。



御供養をいただく2階和室では、福岡教区作成の「ようこうそ妙應寺」が上映されました。

## 準備ご奉公、ありがとうございました

10月6日(土)に、新本堂を  
頂いて初めて大掃除をさせて頂  
きました。(写真はP16に)

目黒時代は、お会式のたびに  
各地区交代でさせて頂きました  
が、今回は各地区より大勢参加  
を得てご奉公させて頂きまし  
た。

今年度からお会式ご奉公体制  
が見直され、ご奉公者数が削減  
されました。

毎回各地区よりご奉公者をお  
願ひしてりましたが、事務局  
を軸としたご奉公体制とさせて  
頂いております。

お会式で各地  
区のご奉公機  
会が少なくな  
りましたの

で、「大掃除」  
にご参加頂き  
皆さんでお会  
式奉修させて  
頂きしょう。

又大切な法城  
に「愛着」を感じて頂きたいと、  
いう思いでさせて頂きました。

今後ともよろしく願ひいた  
します。



事務局長 山本久男



# 日尚上人御十七回忌法要・創立記念式典

日尚上人は平成十五年四月二十三日に御遷化されました。来年には御十七回忌法要を奉修させていただきます。

平成三十一年四月二十日(土)に本堂での法要後、池袋のアカデミーホールにて佛立本旨講創立記念式典を開催いたします。

記念式典では、日尚上人の法ほうろう勞をお偲びしながら、全佛立



JR池袋駅から徒歩8分のアカデミーホール(上)とビュッフェ料理



本旨講教講の親睦と、これからの弘通発展への気持ちを込める企画を計画しております。ご家族揃って参加できるように、今からご準備下さい。

また、翌二十一日(日)には本堂での御看経のあと、六角堂にて奉告式を行います。

## 平成30年10月の寺内行事報告

1日～7日 開講本旨再興祈願  
朝参詣週間

1(日) 開講本旨再興祈願総講  
を午前10時半より奉修

6(土) 運営会議を午前9時半  
より開催

8日～14日 高祖会無事奉修祈  
願朝参詣週間

13(土) 連合幹事会を午前9時  
半より開催

〃 後続者育成係連絡会を  
午前10時半より開催

〃 高祖会全体会議・準備  
ご奉公を午前11時より開催

## 男性信徒の結束あるご奉公を



十二月の男性信徒御講の成功を祈願し、男性信徒会の担当教務（随歓師、応昇師）と信徒リーダー会との話し合いが行われま

した（写真）。

また、十一月三日には杉並教区の本田安良席にて男性信徒御助行が行われ、将

引の方法や魅力ある御講席にするための話し合いが行われました。

家室氏が中心となって杉並連合からスタートした男性信徒御助行は、その後、地区助行、地方信徒応援助行、同志寺院との交流助行など幅広く活動を続けてきました。そして目標でした男性信徒御講開催が実現します。

男性信徒御講は初の試みですので、お寺全体で将引へのご協力をよろしくお願いいたします。

14日(日) 高祖会を奉修

第一座 午前10時

第二座 午前11時半

17日(水) 開導聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

21日(日) 口唱会(担当…第三地

区)を午前9時半より奉修

// 若い人の口唱会を午前

10時半より奉修

25日(木) 門祖聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後12

時半より開催

31日(水) 赤い羽根共同募金の締

め切り

# 心を込めてお油さんをお届けします

お油さんを付けるとは

「御題目を体内に取り込む」

ということ

「膝に塗ったら痛みがとれた」、「切り傷が治った」、「頭にぬったら物忘れが減った」など、お油さんは薬ではありませんが様々な効能を頂けたとの御利益談を良くお聞きします。



お油さんは日在導師が

お油さんは御宝前に灯した和ともし

ろうそく、つばきあぶら

蝋燭と椿油を原料として作られ

ていました。しかし昨今は手に入りやすいパラフィンで作られている洋ローソクや電球が主流になったため、いつしか作られなくなりました。それを日在導師が佛立本旨講となつて新たな材料で開発し、現在多くの御信者に利用頂いています。

お油さん作りのご奉公

お油さんは、年4回「お油さんレディース」と呼ばれている13名前後の御信者さんによつ



て、一回あたり130個程度造られています。各ご家庭に常備して家族の健康をお守り頂きましょう。



## 信心のきっかけは参詣将引

神野照報師

当宗の信心は参詣から始まり、他の人にも参詣を勧めて、自他共に功德を積む信心です。

この参詣将引に依り、正しい信行に改良させたお役中がおります。この方の班員の中に、何年もお助行も受けず家の中にも上げずという、御弘通費だけの信者が居りました。その方の御両親は常にご奉公や参詣に励まれる信心一筋の方で、お役中も生前大変お世話になったそうです。

お寺やお講にお誘いしても、

主人は仕事で忙しく、私は幼子二人を抱えて暇がない、御看経はたまに主人が上げていますとの事。これではお世話になつた

御両親に真に申し訳がない、ご信心を伝えなくてはと思い、御両親の命日や祥月には何遍お断りされても、お花やお盛物を御宝前にお供えして下さい、と御供養を続けていると、段々と心を開いて話せるようになり、漸く御宝前に涙ながらのご挨拶が出来ました。

偶々たまたま午前中に何うと子供達が

保育園、これは伝えるチャンスと思ひ御両親の年回法要をお寺でさせて頂くときつと喜んでくれます、と内心びくびくしながら話してみると、それなら承諾してくれたのです。早速日取りを決めて一緒にお寺に申込に行く事が出来ました。

これを切っ掛けとして御両親の命日には、お塔婆や御回向をしてお寺参詣する様になり、ご主人の休みには二人でお参詣する姿も見られたそうです。

参詣将引は目標を立てて、丁寧に根気よくさせて頂く事が真に大事であり、それが育成にも繋がって行く事を教わりました。

## どんな問題も祈願をすれば

所沢教区 Wさん

孫のMは十八歳ですが、一歳半頃から腎臓ネフローゼ症候群で病院に入退院を繰り返して、現在も通院する日々を過ごしています。

数年前から、息子のNが姪の病気を心配し、毎月御祈願を掛けてくれるようになりました。そのおかげで、去年の検査の結果、Mが非常に嫌がっていた抗生物質を、飲まなくてよくなり、改善の様子が出てきました。少しずつですが、症状が良くなっているお計らいを頂きました。こうして、今のところ落ちついており、専門学校に通ってお

ります。その様子を見ると、私も祖母として、前世からの罪障を消滅してやれたらと、心より願っております。

実は私もあまり元気とは言えません。長いこと病院に通って来ました。私のこともご祈願してくれていたNに、「自分でご祈願しないと治らないよ」と言われ、早速ご祈願をかけました。すると、六年かかっていたところが、よくなるどころか、かえって悪くなるようだった私の病状を見て、担当医を、疥癬かいせんという難病の専門医に替えてくれました。そして、それまでの薬をや

めて新しい薬に替えてくれました。

すると、それまでどうしようもなかったカユミが治まってきたのです。大変にうれしいことです。ご祈願の素晴らしさや難さを、心から感じさせて頂いているこのごろです。

孫のMも自身でご祈願ができるようになったら、ますますご利益が頂けると思っています。

一日も早く人並みに生活が出来るように、Mにも、自分の字でご祈願をかけるようにすすめてゆきます。

家族皆で御宝前に座り、御題目を口唱できる日を夢見て、ご奉公させていただきます。

## 謗法物を払う事が出来ました

水戸教区 Tさん

川内村に嫁いだ次女が昨年九月に三人目の子供を出産し、一ヶ月後に川内村に帰る際、産後の体調が少し思わしくないのも私も川内で手伝う事に致しました。何日かたつうちに私の咳が段々ひどくなり夜もなかなか寝られなくなり、娘の体調も産後うつ症状がひどくなってしまいました。

これはどうしたのかと口唱しながら考えておりますと、私が寝ている枕元の孫のランドセルに、謗法のお守りがついていた

のでした。「原因はこれだったのでは！」と思い翌朝孫たちにかさつそく「ママの元気が出ない事や、ばあばの咳がひどくなるのは他の神社やお寺のお守りとかがあるからじゃないかな。家にはのんのさんがいらしてちゃんとお守りいただいているのよね！」と話すと「うん、わかっただ！」と言ってランドセルのお守りや他にもあったものをすべて二人の孫達は出してくれました。

すると、次女の夫も、「お母

さんこれでもすよね」と言ってお社のお札を出してきて実家に置いてきてくれました。

すると、不思議に咳は治まり次女の病状も心配してくださったお導師のお助行ならびに皆様の応援のご祈願のおかげもあり、年末には体調も良くなり、家事や育児をすることができるようになりました。

今回の事は、娘家族にご信心を分かってもらう良い機会になりました。これから娘家族達にご信心が正しく伝わっている様にご奉公させていただきます。

## 根気よく願えば

練馬教区 Eさん

9月の第三地区の後続者育成助行は、練馬教区のKさん宅で受けて下さいました。次世代家族の親許でのお助行です。お導師係のHさんはじめ8名の助行参加で充実したお題目が上がり、席主にも大変喜んで頂きました。お看経後の懇談でも、誰もが願っている信行相続のための具体的な話を伺い、参加者全員が子や孫に信心の喜びを伝える決意を新たにしました。

その時の事ですが、連合では病気の方々の病気全快を祈願し

続けていますが、K家の長男、Hさんが病気をきっかけにお供水を頂くようになり、また初めてお寺参詣が出来ました、と喜びを話して下さいました。

信心増進されている今こそチャンスと後日改めてHさんにお会式参詣をすすめて頂き

ました。また次男のYさん夫妻にも、今年5歳、3歳のお嬢さんがいらっしやり、11月18日の七五三お礼言上への出席確認をさせて頂き、あわせてお会式参詣をすすめて頂きました。

どちらも参詣将引のハガキが大変役に立ちました。

ご信心は喜びが大切で、根気よく願えば信行相続だつてきつと叶えて頂けると思うことができました。

### ご存知ですか？

本堂の大御本尊には、「大正七年十二月中浣護持乘泉寺 佛立開導三世講有大僧正日随拜」と書かれています。

一九一八年十二月中旬に、日随上人により御染筆にせんびつされました。ちょうど百年前に御染筆されたものを、近年、現在の形にしたものです。

# ★こどもたちの会★

## 「何をしにお寺に行っているの？」

<p>あなたが落ち込んでいて、お母さんのご回向は一体誰がするの？</p> <p>え？</p>	<p>お寺には沢山の仲間がいるから、会いに行ってるんだよ。</p> <p>おばあちゃん、お寺に行くとは何か良い事あるの？</p> <p>①</p>
<p>そうだった！私の役目は笑顔で明るく生きて、母の看いをする事ね！！</p> <p>ご回向をする事が、あなたの役目でしょう！！</p>	<p>そうだよ！何かあった時に支え合う仲間だよ！！</p> <p>なかま仲間～？！</p> <p>②</p>
<p>と気付かせて頂けたのよ。</p> <p>すごい仲間がいるんだね～！！</p> <p>③</p>	<p>長い事、母と娘の2人で暮らしていたご信者さんがいるんだけどね…。</p> <p>ん。</p> <p>③</p>
<p>信者仲間は皆、家族の様な思いやりがあるんだよね。</p> <p>それだけじゃなくて、ご回向の言葉で「気持ちを変えたなんてすごいね！」</p> <p>④</p>	<p>お母さんがとくなくなっちゃったの…。</p> <p>それは女良さん…淋しいね…。</p> <p>④</p>
<p>それはご回向のありがたさを体験している信者さんの言葉だから心に響き、納得してもらえるんだよ。</p> <p>おばあちゃん、毎日お寺に行くのは支え合える仲間と会いに行ってるんだね。</p> <p>⑤</p>	<p>もう少しお母さんに長生きしてもらいたかったの、その願いが叶わなくて自分を責めて泣いて暮らしていたの。</p> <p>「気持ち」は分かるけど、体を壊しちゃうね…。</p> <p>⑤</p>

